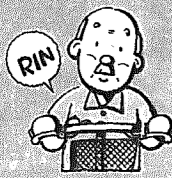
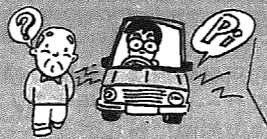


9/21~9/30 秋の全国交通安全運動



これからの季節は、日一日と夕暮れが早まり、夕方から夜間の時間帯にかけて交通事故が多発します。特に、歩行・横断中の高齢者の被害事故が多く、この時間帯に集中しています。

この時間帯は一日のうちで最もまわりが見えにくく、また、一日の疲れが出てくるときであり、交通事故の危険性が高くなります。ドライバーは、より慎重な運転を、歩行者は明るい服装や反射材を身につけるなど、お互いに事故防止に配慮しましょう。



スローガン

「夕暮れは ライトをつけて 気をつけて」

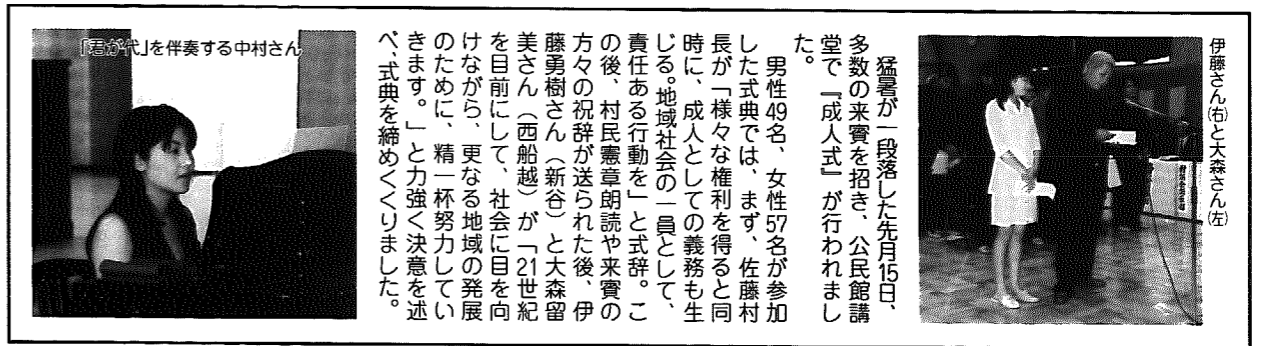
運動の重点

- ① 高齢者の交通事故防止
- ② シートベルト着用の徹底とチャイルドシートの着用促進
- ③ 夕暮れ時の交通事故防止



成人式

8月15日(日)
公民館講堂



猛暑が一段落した先月15日、多数の来賓を招き、公民館講堂で「成人式」が行われました。

男性49名、女性57名が参加した式典では、まず、佐藤村長が「様々な権利を得ると同時に、成人としての義務も生じる。地域社会の一員として、責任ある行動を」と式辞。この後、村民憲章朗読や来賓の方々の祝辞が送られた後、伊藤勇樹さん(新谷)と大森留美さん(西船越)が「21世紀を目前にして、社会に目を向けながら、更なる地域の発展のために、精一杯努力していきます。」と力強く決意を述べ、式典を締めくくりました。

伊藤さん(右)と大森さん(左)

7月末現在、**全体**の84%しか使われていません。

地域振興券の使用期限は 今月13日(月)までです。

※観光商工課 082-5715

愛情+正しいしつけ

動物と人間が同じ社会で暮らすための最低限のルールです。

9月20日~26日は動物愛護週間です。

ペットの代表といえば犬とねこ。ある民間団体が行った平成十年度の調査によると、全国では約一千万頭の犬と、約七百万匹のねこが飼われています。

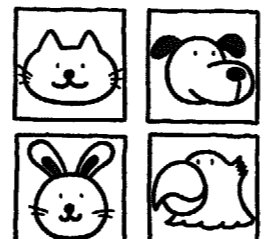
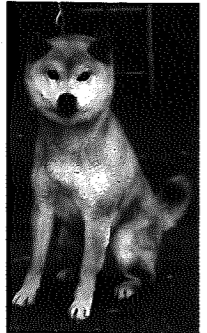
わたしたちの社会では、犬やねこなどの動物が、それだけ身近な存在になっていきます。そうしたなか、犬やねこの飼い方をめぐって、さまざまな苦情やトラブルが増え、飼主のモラルが問われるケースも多くなっています。

動物を飼う人は、自分とペットの幸せだけでなく、周囲の人に対しても配慮することが必要です。

- ・正しくしつけましょう。
- ・犬は飼い犬登録をし、狂犬病の予防注射をすること。また放し飼いはやめましょう。
- ・最後に責任をもって飼いましよ。
- ・繁殖を望まない場合は、不妊手術や去勢手術など繁殖制限の措置を。子犬や子ねこが生まれても、飼えなければ不幸な犬やねこを増やすこととなります。

動物も人も、みんなが気持ち良く暮らすために、次のようなルールやマナーをきちんと守ってください。

- ◆動物の本能や習性、生理をよく理解して飼いましよ。
- ◆家族の一員として扱い、愛情をもって世話をしましよ。
- ◆他人に危害や迷惑をかけるよう配慮しましよ。
- ◆犬やねこのふんを始めをきちんとし、悪臭などが出ないようにしましよ。



決意も新たに
新成人106名が参加